

あしたのために

四日市市立朝明中学校
1 年生学年通信
平成 31 年 4 月 24 日(水)
その 13 文責(浅野)

自主自立！

あいさつ

～たった 1 秒の言葉が人と人をつないでく～

先日「あいさつ」という道德の授業を行いました。たった 1 秒ほどのひとことの中に、感謝の気持ち、尊敬する気持ち、謙虚さ、優しさ、心配りなどが含まれて相手に伝わり、そのまま自分に返ってくるのです。あいさつには不思議な力があるのですね。

現在漫画家として活躍している小泉吉宏さんの詩です。1984 年(昭和 60 年)の大晦日『ゆく年くる年』で 1 度だけ放送されたまぼろしの CM のものです。放映後には、その短い言葉に、心を打たれた人たちの反響があったそうです。結婚式のスピーチに引用されたり、今では小学校の道德の教材にもなっていますよね。おそらく知っている人も多いはず。語り尽くせない思いを短い言葉に託す。人と人のつながり、それは言葉と時間の織り成すストーリーなのです。この幻のセイコーの CM は 2008 年(平成 20 年)に、ハイビジョン映像でのリメイクで再度登場しました。

「はじめまして」この 1 秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることがある。
「ありがとう」この 1 秒ほどの短い言葉に、人のやさしさを知ることがある。
「がんばって」この 1 秒ほどの短い言葉に、勇気がよみがえってくることがある。
「おめでとう」この 1 秒ほどの短い言葉に、幸せにあふれることがある。
「ごめんなさい」この 1 秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることがある。
「さようなら」この 1 秒ほどの短い言葉が、一生の別れになるときがある。
一秒に喜び、一秒に泣く。一所懸命、一秒。

私たちは、たった一言の言葉で、元気にもなれば、悲しくもなる。それは、今まで歩んできた人生の中で、何度も経験し何度も気付かされていることなのです

たった 1 秒の「あいさつ」を大切に生きていきたいものですね。

昨日も 1 年生各クラスの帰り学活の様子を拝見いたしました！



重い集配物を運んでくれる人



明日の予定を書いてくれる人



司会をしくれる人



班の反省をまとめてくれる人

クラスのために一生懸命働くみんなに

1 秒のあいさつ！

ありがとう

